

令和３年２月定例県議会（予算委員会）における答弁要旨

（質問日：令和３年２月１７日）

（総括・一般）

部（局・庁）・課（室）名

農林水産部安全農業推進課

質問者 立憲民主・千葉民主の会 入江 晶子 議員

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
３．有機農業の推進について （１）有機農業の推進に係る予算額と主な事業はどうか。	有機農業を推進するための令和３年度の執行予算は２０５万４千円となっています。 主な事業としては、 ・国際水準の有機農業を指導・助言できる指導員を育成する事業 ・栽培技術の向上や有機 JAS の認証取得を支援する研修会等を開催する事業 などとなっています。	課長 小川 勝
（２）第３次千葉県有機農業推進計画で掲げられた目標はどのようなものか。	令和３年１月に策定した第３次計画では、有機農業の生産と消費の拡大を図るため、目標年度である２０３０年度までに、 ・有機農業の取組面積を、現状約８００ヘクタールから１，２００ヘクタールまで拡大させる。 ・週１回以上有機農産物を購入する消費者の割合を、現状１０％から１２％にする。 など４つの目標を掲げています。	課長 小川 勝

令和３年２月定例県議会（予算委員会）における答弁要旨

（質問日：令和３年２月１７日）

（総括・一般）

部（局・庁）・課（室）名

農林水産部安全農業推進課

質問者 立憲民主・千葉民主の会 入江 晶子 議員

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
３．有機農業の推進について （３）目標達成に向けての課題に対し、どのように取り組んでいくのか。	第３次計画で掲げた目標を達成するための課題として、生産面では、雑草や病虫害防除への対策が必要であること、消費拡大に向けては、消費者の理解促進等の対策が必要であることなどが挙げられます。 このため県では、生産拡大に向け、有機農業に関する知識や技術を学ぶ研修会を開催するほか、消費拡大に向け、学校給食を通じた食育活動や消費者と生産者の交流を進めるなど、目標達成に向けて取り組んでまいります。	課長 小川 勝
（再質問） 「環境にやさしい農業」推進について、新年度の予算措置は大丈夫なのか。	「環境にやさしい農業」推進事業の補助金については、要望調査を実施し、現在、その内容について精査しているところですが、予算の範囲内で対応できるものと考えております。	課長 小川 勝
（要望） 有機農業を面的に広げるには、新規就農者だけではなく、従来の慣行農業からの転換を促進する必要があると聞いています。 現在、環境にやさしい農業、ちばエコ農業を担っている農業者にも積極的にアプローチし、優良農地を有機栽培に転換していくことにも是非力を入れていただきたい。		

令和３年２月定例県議会（予算委員会）における答弁要旨

（質問日：令和３年２月１７日）

（総括・一般）

部（局・庁）・課（室）名

農林水産部安全農業推進課

質問者 立憲民主・千葉民主の会 入江 晶子 議員

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
３．有機農業の推進について （４）有機農業に係る普及指導員の育成をどのように進めていくのか。 （５）第３次計画推進に向けて、県内自治体とどのように連携していくのか。 （要望） 有機の里づくり、有機農産物の地産地消、身体も心も健やかに育つ安全でおいしい給食、夢のある政策をこの千葉県で進めていきたいと思っています。このような地に足を付けたローカルな取組が、地球温暖化防止や生物多様性保全等、グローバルな政策課題の解決につながっています。有機農業の可能性に着目し、より一層力を入れていただきたい。	有機農業の更なる生産拡大のためには、有機ＪＡＳ認証などの国際水準を満たす技術や知識などを指導・助言できる普及指導員の育成が重要です。 そこで県では、国や民間等が実施する研修会の受講により、令和１２年度までに累計２０名となるよう計画的に普及指導員の育成を進めてまいります。 第３次計画に基づき、有機農業を推進していくため、県では、自治体や学識経験者、生産者等で構成する意見交換会を開催するほか、有機農業を推進する自治体同士の交流や連携を促すネットワークづくりを進めてまいります。	課長 小川 勝 部長 穴澤 幸男